



★トップからのメッセージ

p. 2～

富士電機津軽セミコンダクタ㈱ 代表取締役社長 一戸 裕康さん

QCサークル活動のねらいとしては、一般的にいわれているように職場内の問題解決や経営貢献、人材育成といったものがあるでしょう。でも私自身は、自分たちがいかに働きやすくてできるかを考え、改善していくことが、この活動では大事だととらえています。だから、自分たちのためになるものだと思って取り組んでほしいと願っています。

★ザ・ショット 写真で綴る QCサークル紀行

p. 5～

明石機械工業㈱ 九州工場

同社は、ダイハツ工業グループにおける駆動ユニットサプライヤーです。2030年までの会社指針に、ありたい姿として①みんなが主役、②従業員ファーストの2項目を掲げ、“人づくり”を重視することを強くアピールしている。“人づくり”にも結びつくQCサークル活動を、国内5つの生産拠点で展開し、近年は全社発表会で上位賞を九州工場が度々獲得しているそうです。同工場の活動レベルが高く頑張っているサークルに、部署の管理者の指導力やかかわり方、サークルリーダーの考えや活動の進め方を中心にインタビューしてきました。

★特集：新入社員はこうして育てろ！ ～改善大好き人間にするために～

p. 9～（サークル、管理者／事務局、その他）

新入社員の構成（新卒、中途、外国人労働者）によって、モノづくり、コトづくりの組織が作り込む品質の基準は変わることはなく、そのつくり込みの様々な品質に対して改善を日頃から推進することが重要です。新たな組織に入った新入社員に改善の重要性やおもしろさ、はたまた改善による自己研鑽や改善大好きへの入口も知ってもらいたいと思います。今回の特集では、QCサークル活動のコアの1つである「改善」に焦点をあてます。事例を通じて、組織内、各支部・地区内での更なる能力向上に役立てていただければ幸いです。

★推進者のページ：こんな推進者になりたい ～役割とその責任を理解し実践する～

p. 23（管理者／事務局、運営／推進）

第4回 トップ、管理者をその気にさせる推進事務局

本ページでは、今まで一括りにして解説することが多かった「推進者」を、「トップ」、「管理者」、「推進事務局」に分けて、その役割と責任について考えていきます。本号では、トップや管理者とのかかわりに着目し、1. トップに実態をタイムリーに知ってもらう、2. 管理者教育の必要性の2点に絞り、トップや管理者をその気にさせるために推進事務局が何をすべきか、みなさんと一緒に考えていきます。

★サークルQ&A ただいま出勤 QCサークル119番～あなたの困りごとに寄り添います～

p. 30～（サークル）

カルテ 189

今回は、業務が増えて残業が常態化し、QCサークル活動の時間がとれないというお悩みです。6コママンガとともに編集委員がアドバイスします。

★体験事例&ワンポイント事例

今月は、体験事例2件、ワンポイント事例1件を紹介します。

体験事例： p. 32～

1.（サークル、製造、改善）

ダイハツ工業㈱ 「FLOWサークル」

「アイドラブリー締付けボルト折れの撲滅 ～心もボルトも折れない活動～」

2.（サークル、製造、改善）

㈱小松製作所 「フジヤマサークル」

「コーティング材料費低減活動 ～一緒に考えて成長する～」

ワンポイント事例： p. 40～

1.（サークル、製造、改善）

トヨタ自動車北海道㈱ 「もと660サークル」

「K120アルミ加工ラインCO2排出量の低減 ～目指せ！みんなの省エネダントツライン～」

★運営のページ QC サークル活動運営の基本を学ぶ ー運営の工夫で楽しく活動してみませんかー

P. 46 (サークル、運営/推進)

第4回 会合での発言を増やす工夫

本ページは、『QC サークル活動運営の基本』QC サークル本部編に書かれているような基本的な事項を一つひとつ取り上げて解説します。活動を始めたばかりのサークル、活動経験はあるものの疑問や不安を感じているサークルなどに、運営について体系的に学んでもらうことがねらいです。今月は、会合での発言を増やす工夫について紹介します。

★私たちの活動を紹介します！<JHS(含む医療・福祉)部門編>

P. 44 (事務、販売・サービス)

トヨタ自動車東日本㈱「スマイル@サークル」

サークルに改善の背景や内容を、推進者にはサークルの育成方法について紹介いただくページです。今月は、小学校への出前授業のCS 向上を目指したサークルにスポットを当てます。

★QC検定道場

P. 48 (サークル、一般者(標準))

第4回 品質の概念、管理の方法

今月号は、QC 検定に挑戦させる仕組みについて企業事例を紹介します。あわせて、品質の概念、管理の方法について、過去に出題された問題から解説していきます。しっかり知識を身につけていきましょう。

★連載講座：データのとり方・使い方・まとめ方

p. 52 (サークル、一般者(標準))

第4回 データをまとめる：基本統計量

計数値データをグラフ化して表示してみると、まとめたデータには違いがあります、その違いを数値で表す方法が基本統計量です。基本統計量を利用して数値化すると、QC サークル活動での目標値を設定することができます。4月号では、データのまとめ方である、基本統計量について解説します。

☆『QCサークル』誌に貴社の広告を掲載しませんか？

会社や自社製品のPRの場として、ぜひご検討ください！

詳細はホームページ http://www.juse.or.jp/qc_circle/をご覧ください。

+++++ 本件に関するお問合せ ++++++

一般財団法人 日本科学技術連盟 『QCサークル』誌編集

TEL : 03-5378-9817 E-mail : editoqcc@juse.or.jp